

食品の原産地表示が制度化

一般消費者向けの全ての生鮮食品は、平成12年7月から原産地表示が義務付けられました。また、加工食品についても平成29年9月から国内で製造・加工されたすべての加工食品の重量割合上位1位の原料原産地表示が義務化され令和4年4月に完全施行されます。

農業は様々な役割を担っています。

農業は農産物の生産だけでなく、私たちの暮らしや環境に様々な役割を果たしています。たとえば、田んぼ。大雨の時には水をためてダムの役割をし、下流にある都市を洪水から守ってくれます。夏には上昇する熱を吸収して暑さをやわらげたり、のどかな田園風景は、私たちの心に安らぎをもたらします。このような「公益効果」をお金に換算すると、年間8兆円にもなるといわれています。

農業の多面的機能

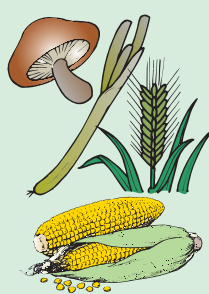
①国土の保全 (洪水防止機能、土壌浸食防止機能、土壌崩壊防止機能)	④良好な景観の形成
②水源のかん養	⑤文化の伝承
③自然環境の保全 (有機性廃棄物の処理、物質分解・汚染物浄化、大気の浄化、多様な生物の保全)	⑥保健休養
	⑦地域社会の活性化
	⑧食料安全保障

食料自給率は37%近辺で推移

わが国の食料自給率(カロリーベース)は、昭和40年には73%あったものから、近年では大きく低下し、平成30年度は37%となっています。60%以上を海外からの輸入に頼っている計算になりますが、地球温暖化の影響による異常気象もあり、自給率向上がさらに大きな課題となっています。国は、国産農林水産物の消費拡大を推進する「フード・アクション・ニッポン」や「食料・農業・農村基本計画」において、「食料自給力(わが国農林水産業が有する食料の潜在生産能力)」の指標化などを示し、向上の取組みを行っています。

増加する農産物の輸入

わが国の農産物輸入は増加傾向にあり、平成30年の輸入額は約6.6兆円で前年比3%の伸びとなっています。なかでも、牛肉、鶏肉調製品、ナチュラルフーズ、冷凍野菜などが、前年を上回っています。(農林水産省「農林水産物輸出入概況」による)



エコープマーク品の国産愛用マーク

エコープマーク品は、国産の原材料を優先的に使用しています。エコープマーク品では、原材料についても独自の基準を設け、主原材料が国産100%であるものにのみ「国産愛用マーク」を表示するようにしています。このマークはエコープマーク品だけのオリジナルマークです。

国産愛用
○○○○は
100%国産

国産愛用
○○は100%国産

国産愛用マーク表示基準

①日本国内で生産された、②の基準を満たす商品については、その消費拡大を目指し、お客様の信頼を確保するために統一の「国産愛用マーク」を使っています。

②表示の基準

ア、国産農畜水産物原材料の定義

日本国内において生産された国産農畜水産物もしくはそれらを日本国内で加工したもの。

イ、対象品目：以下すべてに適合する品目

ア) 主原材料(原材料に占める割合が50%を超えるもの)が100%国産農畜水産物であるもの。

イ) 国内で販売・流通している同種の商品に輸入原材料を使用した商品があるもの。

③このマークの使用についての疑問点、不明点、食品以外への使用については全農暮らし支援事業部にお問い合わせください。

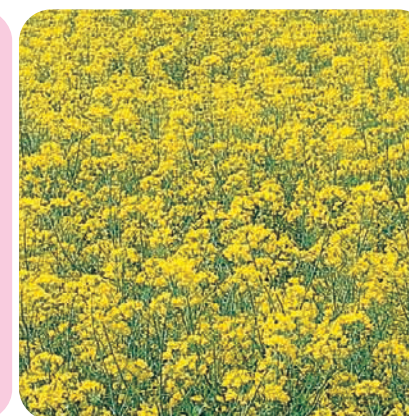
国内製造マークについて

エコープマーク品のうち、国内製造されたものに関しては、パッケージ表面の下部に「JAグループ商品マーク」と「国内製造マーク」を並べて表示しています。

エコープマーク品はJAグループの商品です。国内製造

エコープマーク品 くらしと知識②

エコープマーク品 —国産を優先使用、農業・地域・食—



エコープマーク品はJAグループの商品です。

全農

JA | JA全農グループ

JA全農 暮らし支援事業部

〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1
TEL 03-6271-8355 FAX 03-5218-2547

エコープマーク品ホームページ アドレス <https://www.zennoh.or.jp/acoop>

JA全農 暮らし支援事業部 商品管理室

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡4-18-1
TEL 0463-22-1035 FAX 0463-22-1643

「農業」・「地域」・「食」を支えるエーコープマーク品

— エーコープマーク品は国産原材料を優先使用しています。 —

「農業」と「地域」を守ります。

農業は、食物を作ることだけではありません。山や森、海などの国土保全や環境悪化の防止などに役立っています。また、日本人の生活や、文化、歴史に深く関わり豊かな「人と地域」を支えています。農業の重要さはこの多面的機能を考えることです。私たちの生活を守り農業を守ることは大変重要なことです。



「食」を守ります。

1965年に73%であった日本のカロリーベースの食料自給率は下がり続け2018年度は37%、先進国の中で最低の水準です。世界的に人口が増加し、世界的な異常気象や自然災害が多発するなかで、食料の多くを海外に依存することは日本の食料安定確保に影響の恐れがあります。



こだわりドレッシング
たまねぎ黒酢



黒豆ごはんの素



はるさめ



純米酢



国産小麦の小麦粉使用
むしパンミックス



お茶



ごめ油



トマトジュース



国産小麦の
小麦粉使用うどん

※掲載商品は地域によって取り扱いしていない場合があります。